

字型に両側に繞き、その奥に幅2メートル位の長い堀があつて長い木の板が多数堀に渡して並べてある。その板に左右の足を乗せて用便をする。悪臭芬々、蠅が粉々で不衛生極まりない。これはバキュー・ムカーレ吸い取つて処理するしか方法がない。毎日吸い取れば腐敗せずに処理出来る。東京都へ頼めば何とかなるか、などと考えながら中央道を戻つて歩き出すと、前から日本人らしい男が歩いて来る。声をかけたら日本外務省の役人であつた。早速トイレの話ををして戻つて案内し、東京都のバキュー・ムカーレの話をしたら、帰国後東京都へ連絡してみようと言つてくれたので安心して名刺を交わし別れた。歩きながら外務省の役人と偶然に出会つた事を感謝し、希望の実現を祈つた。

出会いつた少年に将来の光明を予感

出会いの少年に将来の光明を予感

蟻が粉々で不衛生極まりない。これはバキュームカーで吸い取つて処理するしか方法がない。毎日吸い取れば腐敗せずに処理出来る。東京都へ頼めば何とかなるか、などと考えながら中央道を戻つて歩き出すと、前から日本人らしい男が歩いて来る。声をかけたら日本外務省の役人であつた。早速トイレの話ををして戻つて案内し、東京都のバキュームカーの話をしたら、帰国後東京都へ連絡してみようと言つてくれたので安心して名刺を交わし別れた。歩きながら外務省の役人と偶然に会つた事を感謝し、希望の実現を祈つた。

1月25日外務省から電話が来た。バキュームカーの事を東京都へ頼んだら大層喜んで協力してくれる事になり、「話をしているうちにゴミ処理車も一台用意する事になりました」と報告があつて私も大変嬉しかった。今後外務省では事務手続きや、東京都と曹洞宗との連絡や書類の作成を担当するので、曹洞宗では輸送費を出して欲しいとの事であつた。私は勿論賛成し承諾して今後の進行を待つた。

3月17日外務省から電話 バキュームカーとゴミ処理車が完成したので車のボディーに「難民救済のために寄贈する、日本国外務省、東京都庁、曹洞宗難民救済会議」の名称を連記したいとの事であつた勿論賛成して記載を依頼した。更に東京都では、この仕事は良い仕事であるから、以後毎月続けて3回合計6台を贈呈したいとの意見であつたと報告を受け、有難く御礼申し上げ、今後の三者相互への連絡



バキュームカーとゴミ処理車をタイの難民キャンップへ輸送のため横浜港で積み込み確認中の私（左の黒衣）。バキュームカー、ゴミ処理車の運搬費、通関税、雑費、合わせて616,876円

東京都議会議員から横やり

帰国して間もなく外務省から電話が来た。東京都議会議員がバンコク日本大使館へ来て2台の車を見て外務省、東京都に並んで曹洞宗と書いてあるのは政教分離の法律に違反した行為であると言つて来て、上司が謝罪して文字を消す事を約束したので、文字を消して欲しいとの事であつた。私は何が法律違反であるか、三者が共同して平和運動のために活用して欲しいので寄贈したのであり、宗教行事を実施した事は無いし曹洞宗の私の発言に外務省も東京都も賛同して実施した行為であつて、政教分離の法律に触れる点は何もない、その都議会議員に対し反論出来ないのか、私は承知出来ないので消す事には反対であると返事をしたら、上司が謝つて消す事を約束してしまつたので了解して欲しいと言う。東京都でもその都議会議員の主張に謝罪して文字を消す事を約束したらしいとの事であつた。

私は承知出来ないので消さない、その都議会議員が私に言って来ないので、更に承知出来ないと返事をした。念のために「六法全書」と「信仰の自由と政教分離について」の解説本を読んだが、2台の車の寄付行為には法律違反の点は無かつた。この都議会議員は無理矢理に主張して点数を稼いでいるのであろう。この都議会議員の行為によつて救援活動を邪魔されて、今後続けて贈呈する3回6台の車の救援が出来なくなってしまった。私には大層不満である。この不人情な慈悲心のない都議会議員の行動を

済会議が発会し、全国募金を財源として活動する事になつた。吉岡棟一師が会長を務め、私が事務局長を務め、宗務庁職員の石川徹界君が実務を総括する事になつた。

3月26日横浜港で車の積み込みの通知が来たので、
当曰私が横浜港へ行き、積み込み作業を確認し、バ
ンコク事務所へ電話をして、2台の車を輸送したの
で、港へ到着の連絡があつたら港から大使館までの
移動を依頼した。私は4月15日バンコクへ行つたの
で日本大使館を訪問して大使館の庭に置かれた2台
の車を確認し、タイ国政府へ贈呈して欲しいと依頼
した。